

組織目標評価報告書(2019年度)

26

部局名:

環境管理センター

部局長名:

菅 誠 治

目 標		目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	教育領域の目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
1. 環境マネジメント委員会において策定された計画に基づき、環境安全教育を実施する。 2. 学生に対し、環境安全に関する教養教育科目を開講する。	年度計画 【91-1】	1. 環境マネジメント委員会において策定された計画に基づき、環境安全教育を実施した。e-Learningの導入により受講者数は大幅に増加したが、一部未実施に終わった。 2. 学生に対し、環境安全に関する教養教育科目「サステイナブル・キャンパスを目指して」を開講し、157名が受講した。
②研究領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	研究領域の目標の達成状況
環境保全及び環境安全に係る研究を行う。	年度計画 【91-1】	環境保全に係る研究(湿式ボールミル法を用いた無機性産業廃棄物の再資源化技術の開発)を行った。
③社会貢献(診療を含む)領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	社会貢献(診療を含む)領域の目標の達成状況
サステイナブル・キャンパスを目指した活動を行い、大学の環境マネジメント・安全管理を通じて地域貢献する。	年度計画 【91-1】	大学コンソーシアム岡山の活動に関連し、岡山大学エコナイト2019を開催し、環境ミニ講習会を行った。地域住民の参加があった。 クリーンキャンパスに協力し、大学構内及び周辺の清掃活動を行った。
④管理運営領域		
	目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域の目標の達成状況
1. ガバナンス強化により、業務を円滑に遂行する。 2. 業務分担と手法を見直すことにより、業務の効率化を図る。 3. 進捗管理を厳格に行い、業務の遅延を防止する。	年度計画 【72-1】	1. 副センター長を廃止し、センター長直轄としたガバナンス強化により、業務の円滑な遂行に努めた。 2. 業務の効率化のために、業務分担と手法を見直した。 3. 進捗管理を厳格に行い、業務の遅延を防止に努めたが、e-Learning開講の一部で遅延が見られた。
⑤センター・機構等業務		
	目標に関連する 年度計画の番号	管理運営領域の目標の達成状況
1. 環境マネジメント委員会で策定された計画に基づき、環境安全教育を実施する。 2. 化学物質管理監査を実施する。 3. 化学物質管理システムの更新を行う。 4. 水銀含有機器及び水銀廃棄物の適正管理のための講習会を行う。 5. 環境報告書の編集及び環境安全教育に係る資料を企画/作成する。 6. 業務計画に示す法定報告及び届出を行う。 7. 廃液受入、排水管理及び作業環境測定業務を行う。	年度計画 【91-1】	1. 環境マネジメント委員会で策定された計画に基づき、環境安全教育を実施した。e-Learningの導入により受講者数は大幅に増加したが、一部未実施に終わった。 2. 化学物質管理システムの更新業務を優先したため、化学物質管理監査を当初計画通り実施できなかった。未実施分は来年度以降に行う予定である。 3. 化学物質管理システムの更新を12月に行ったほか、関連説明会を複数回開催した。 4. 水銀含有機器及び水銀廃棄物の適正管理のための講習会を5月29日に行った。 5. 環境報告書の編集を行い、9月末に公表した。また、環境安全教育に係る資料として、化学物質管理の手引きを作成した。 6. 業務計画に示す法定報告及び届出を遅滞なく行った。 7. 廃液受入、排水管理及び作業環境測定を業務計画通り行った。